



「からふる」は、千歳市の特色ある教育や学校の取組を広く紹介するために、年4回発行する季刊紙です。子どもたちや学校にはそれぞれの特徴があります。その個性がさらに色鮮やかに輝いてほしいという願いを込めて「からふる」と名づけました。

9月から小学校で『フッ化物洗口』を実施します

千歳市では、「子どもの虫歯予防」のため、平成27年9月から全小学校全学年の希望する子どもたちに、虫歯の予防に効果がある「フッ化物洗口」を実施します。

「どうしてフッ化物洗口が必要なの？」

歯と口腔(口の中)の健康は、食べ物を噛むことのほか、味わうことや会話を楽しむことなど健やかで豊かな生活を送る上で欠くことのできないものです。歯を失うことは、生活の質の低下を招くだけでなく、全身の健康にも影響を及ぼします。フッ化物はむし歯になりかけた歯のエナメル質の結晶に組み込まれ、丈夫な結晶を造るとともに、エナメル質を溶かす酸の生産を抑制する作用もあります。フッ化物による洗口(うがい)は、平成15年に厚生労働省が「フッ化物洗口ガイドライン」を公表し、文部科学省では学校での公衆衛生手法として位置付けています。また、北海道教育委員会では、平成29年度までに道内全小学校でフッ化物洗口を実施することとしています。

昭和62年から実施しているむかわ町では、12歳の虫歯数が5.3本(昭和62年)から0.8本(平成17年)に減少し、また、県全体で実施している新潟県では、12歳の虫歯数が0.6本と全国で最も虫歯の少ない県となっています。

教育委員会では、千歳市歯科医師会、千歳市薬剤師会の協力を得ながら、薬剤師がフッ化ナトリウムを薄めた洗口液を作り毎週学校へ配達する方法でフッ化物洗口を実施し、安全性の確保と学校の負担軽減を図っています。

「フッ化物洗口はどうやって行うの？」

フッ化物洗口とは、虫歯予防に効果のあるフッ化ナトリウムを薄めた洗口液(無色、無臭)で、週1回、30秒から1分間のうがいをするものです。

全員が実施するの？

- 希望する子どもに実施します。
- 途中で止めたり、始めたりすることもできます。

フッ化物は他にどんなものに使われているの？

- フッ化物塗布(乳幼児)
- フッ化物配合歯磨剤(歯磨き粉)

フッ化物は安全？

- フッ素は自然界に広く分布しています。
- フッ化物洗口の有効性と安全性は、厚生労働省、日本歯科医師会等が認めています。

どのくらいの虫歯が減るの？

- 40%から80%の虫歯が減ると報告されています。

「フッ化物洗口の方法」



①薬局から届いた洗口液を学級ごとのボトルに分けます。



②学級で担任が子どもたち用に分けます。



③紙コップに分けた洗口液(10ml)を子供たちに渡します。



④子供たちは、自分の席で約1分間のうがいをします。(30分は飲食できません)



全小学校に「デジタル教科書」を整備しました

千歳市では、児童生徒の理解や思考を深めるため、平成25年度から電子黒板等のICT機器の整備を進め、平成27年3月までに市内の全小中学校の普通教室への整備を完了しました。本年度は、ICT機器を活用した、より分かりやすい授業を展開するため、小学校の教科書改訂にあわせて、市内の全小学校にデジタル教科書（指導者用）を整備しました。



(小学校デジタル教科書)



(電子黒板)

平成27年度 小学校デジタル教科書	平成28年度(予定) 中学校デジタル教科書
国語、書写、社会、 地図、算数、理科	国語、地理・歴史・ 公民、地図、数学、 理科、英語

デジタル教科書は、教科書の内容を大画面の電子黒板に映し出すもので、**挿絵や写真の拡大**や、紙の教科書では表現できなかった**動画や音声を再生**することができるため、児童の興味関心を高めたり学習内容の理解を深める場面など授業の様々な場面で効果的な活用が図られます。



小学校デジタル教科書は「特定防衛施設周辺整備調整交付金(防衛省補助)」を活用して整備しました。



教科書の写真やグラフが動いてくればいいのに

デジタル教科書や電子黒板は、従来の教科書や黒板に取って代わるものではなく、それぞれの良さを活かし、組み合わせて使うことで、より学習効果を高めることが期待できるものです。

第1回総合教育会議が開催されました

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」の施行に伴い、本年度から新たに市長主催による総合教育会議が設置され、5月28日に第1回の会議が開催されました。

今後、この会議において、本市における教育に関する様々な課題や取組について議論していくこととなります。

構成	市長と教育委員会(委員長、教育長、委員)
内容	教育行政の大綱の策定 教育の条件整備など重点的に講ずべき施策 児童・生徒等の生命・身体の保護等緊急の場合に講ずべき措置 など



(第1回総合教育会議の様子)

第1回の会議では、本市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の方針について協議し、「千歳市教育大綱」が策定されました。

千歳の未来を担う子どもたちが生き生きと学び、たくましく成長することができるよう学力・体力の向上や教育環境の整備など、学校教育と生涯学習の充実を図るとともに、市長部局をはじめ関係機関との連携を密にして、教育行政を推進していきます。

○ 総合教育会議の詳細は市ホームページでご覧いただけます。
千歳市ホーム > くらし > 教育・文化 > 総合教育会議

千歳市教育大綱

基本目標

学びの意欲と豊かな心を育む教育文化のまち

重点施策

- ・ 確かな学力の向上
- ・ 教育環境の整備
- ・ 外国語教育の充実
- ・ いじめ・不登校の対策
- ・ 生涯学習の推進

基本方針

- ・ ふるさと千歳への感謝と希望を育てる
- ・ 国際都市千歳にふさわしいグローバルな感覚を育てる
- ・ 知的な探求心を持ち積極的に行動する力を育てる
- ・ 学びの意欲と豊かな心を育む文化のまち

学校の特色ある取組を紹介します!

信濃小学校

人とのふれあいを通して、社会性や思いやりの心、コミュニケーション能力を育てる「ジャンボタイム」

「ジャンボタイム」は、『総合的な学習の時間』の一領域です。信濃小学校の総合的な学習の時間は、「ふれあい」「TRY」「平和」「情報教育」「国際理解」の5つの領域に分かれており、そのうちの「ふれあい」が全学年縦割り班活動「ジャンボタイム」です。「ジャンボタイム」の『ジャンボ』はスワヒリ語で「こんにちは」を意味する言葉です。

ジャンボタイムの主な活動内容は、年に2回の縦割り交流遊びと、上級生が下級生の面倒をみながら3～8kmを歩き、一緒にお弁当を食べたり遊んだりする「ジャンボ遠足」があります。こうした活動を通し、子どもたち同士が、学年を超えた信頼関係「絆」を強めています。



ジャンボタイムの様子

桜木小学校

夏休みペーパークラフト教室



ペーパークラフト完成例

桜木小学校では、夏休み中の7月27日と28日の2日間を利用して「ペーパークラフト教室」を行いました。今年で第27回目を迎える桜木小学校の伝統的な行事です。

学校支援地域ボランティアの小笠原先生を講師にお迎えし、同校の4年生、5年生、6年生と父母及び地域の方々など2日間で約80名が参加しました。

作業工程は、まず初めに、数十種類ある原版からそれぞれ好みの作品を選択します。次に画用紙を切り貼りし、完成例(写真)のように形を整えていきます。参加した子どもたちは、真剣な表情で作品作りに取り組み、様々な色使いに仕上がった作品の1つひとつに個性が表れていました。

東千歳中学校

義援金のためのカボチャ栽培活動 ～苗の間隔は70センチ～

東千歳中学校では、困っている人たちを支援するため、生徒自らがカボチャの栽培から販売までを手掛ける活動を行っています。

学校敷地内の畑で、春の苗植えとハウスづくりに始まり、定期的に水やりや雑草取りなどの世話をします。病気にも気を配り、夏になってハウスがはずれると、やがて収穫です。販売する秋まつりが近づくと、カボチャを磨き、値段を設定。販売当日は、接客やお金の取り扱いなど、生徒たちにとっても貴重な経験となります。こうして、長い間の努力の成果である売上金は、東日本大震災義援金や、ユニセフへの寄付金として役立てられています。



苗植えの様子



我が家のルールを決めていますか? ～千歳市家庭生活宣言を守ろう～

千歳市PTA連合会が作成した「千歳市家庭生活宣言」では、子どもたちの家庭生活ルールを定めています。

家庭生活ルールでは、「携帯電話、スマートフォン、通信機能をもったゲーム機などを使用して、インターネットの利用やメールのやり取りを午後9時以降は行わない」ことを基本に、細かいルールは家族で話し合って作っていくことにしています。例えば…

- ・午後9時以降は、携帯・スマホ・ゲーム機を居間などの決まった場所に置く。
- ・土日、祝祭日のメールやインターネットは、午前10時から午後9時までの2時間以内とする。
- ・家で学習した時間や読書した時間の分だけメールやインターネット、ゲームができる。等々です。

また、子どもたちをネットトラブルや犯罪から守るためには、保護者がフィルタリング機能を理解し、有効に活用することも重要です。



さあ、我が家のルールを決めて、親も子どもと一緒に取り組みましょう!

とびっくす

文化財キャラクター愛称 ママチくん に決定

千歳市の文化財の普及啓発と「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」の世界文化遺産登録をPRするキャラクターの愛称が「ママチくん」に決定しました。

選考委員会による審査の結果、応募総数652件の中から佐藤良美さんが最優秀賞に選出され、7月29日に表彰式を行いました。



表彰式の様子

ALTによる補充学習を実施しました!

千歳市では、生徒の学力向上を目的に、ALT (外国人英語指導助手) による長期休暇を利用した課外授業「外国語サポート事業」を市内中学校で実施しています。生きた英語と楽しく触れ合う機会を創出することでコミュニケーション能力の向上や苦手意識の克服など授業では補えない学習支援を行っています。

【実施校】千歳中、北斗中、青葉中、勇舞中、東千歳中、駒里中、富丘中



授業の様子

ミアーズ中学校交流事業訪問団来千!

千歳市と姉妹都市のアメリカ合衆国アンカレジ市からミアーズ中学校の生徒と教員・保護者合わせて29名が、5月25日から31日までの7日間、本市を訪れました。

ミアーズ中の生徒たちは、市内中学生宅にホームステイをしながら、中学校での授業体験などを通じて、日本の文化や生活習慣に触れるとともに、友情の絆を深めることができました。



勇舞中学校での柔道体験の様子

サケのふるさと 千歳水族館がリニューアルオープン

長年親しまれていた「千歳サケのふるさと館」が「サケのふるさと千歳水族館」として7月25日にリニューアルオープンしました。

支笏湖の苔の洞門をイメージした入り口をくぐると、支笏湖大水槽や千歳川水槽など千歳にある自然を表現した水槽や世界各地の淡水魚の水槽があり、来場者は興味深そうに魚を観察していました。



支笏湖大水槽をみる来場者

向陽台小学校 我が校の図書館



向陽台小学校では、子どもたちの読書意欲を喚起することをねらいとして、「本の森」委員児童による活動に加えて、図書ボランティア「森ッく」の協力もいただいて、学校図書館「本の森」の運営、整備を行っています。

春の読書週間では、例年行っている森ッくの読み聞かせや、朝の図書貸出し、読んだ本で木を茂らせていくブックツリー、図書館司書さんによるおりがみ工作会を開きました。

読書に関わる行事はもちろん、日常の学校生活でも子どもたちが読書の喜びを知り、すすんで本を手にとれるような活動を行っています。



読み聞かせの様子

千歳第二小学校 わたしたちの単P活動

千歳第二小学校PTAでは、毎年、9月に「ドリームフェスタ」というイベントを開催しています。主にゲーム(あめチョコすくい、くじ引き、スーパーボールすくいなど)、バザー(野菜・お菓子・リサイクル品販売など)、屋台(焼き鳥、焼きそば、かき氷など)の3部門に分かれて行う、全校挙げてのお祭りです。

現在、子供たちの期待を一身に担って、先生とも協力しながら、鋭意準備中です。



昨年のドリームフェスタの様子

編集・発行 千歳市教育委員会 (教育委員会庁舎2階 教育部 企画総務課)

■住所: 〒066-8686 千歳市東雲町2丁目34番地

■電話: 24-0819 (直通)

■FAX: 27-3743

■e-mail: kyoikukikaku@city.chitose.hokkaido.jp

■URL: <http://www.city.chitose.hokkaido.jp/>